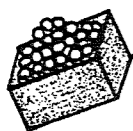


せんせい 先生からの
ほん おすすめの本です。

としよかんだより

2月号



せつぶん
節分

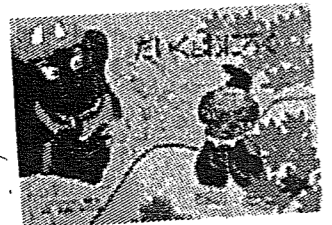
2月3日です。

昔から鬼と言えはこわ〜い鬼ばかりだと想像してしまいましたが、
絵本の世界では心優しい鬼もいるようです。

図書館にも鬼が出てくる本があります。どんな鬼が出てくるか読んでみましょう。

せつぶん 節分というのは、
きせつ 季節の分かれ目のこと。
りっしゅん 立春 (こよみのうへの春)
まえ 前の日をいう。

本の名前
ファーブルこんちゅう記
書いた人の名前
こぼやしせいすけ
みなさんは、「ふん」をころがす虫を見たことがありますか。
この虫は、ふんをころがして、遊んで
いるわけではありません。
いったい何のためにだれの
うんちをコロコロにちがして
りるのでしょう。不思議です。
コファーブルこんちゅう記では、
そんなこんちゅうたちの不思議が
たくさんしょうかいされています。
いろいろな虫の不思議を見つけて
みましょう。
○おすすめする人
藤本 祐士



としよいいんかい 図書館委員会

くじびき貸し出しをしました。くじを引いて、ひいた数の本を借り
ることができます。おおぜい借りに来てくれました。



なにがでてるかなあ。



3さつ
かりたいなあ。